

特集

伊奈町見守り オレンジネットワーク 始動!



☎ 福祉課 2126

一人暮らし・高齢者・障がい者・児童等がいるなど、家族の形はさまざまです。また、少子高齢化や核家族化が進み、徘徊、孤独死、虐待、消費者トラブルなど、その家族が抱える問題もより多様化しています。

そこで町では、従来の地域における見守り活動に加え、町内で業務を行う事業者の方々の協力を得て、業務中に感じた異変を町に連絡していただくことで安否確認を実施したり、必要な支援につなげ、町民の誰もが笑顔になれるまちであり続けるための「伊奈町見守りオレンジネットワーク」が発足しました。

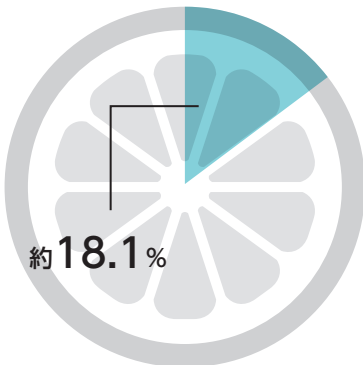
このネットワークを広報いな令和2年5月号でお知らせした「いな見守りONE TEAM事業」の一つとして位置づけ、見守り体制の強化を進めていきます。

業務中に感じた異変とは？

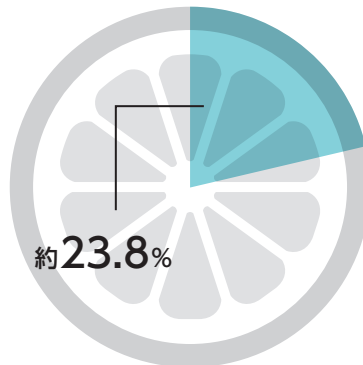
「異臭がする」、「同じ話を繰り返す」、「不自然な傷やあざができてくる」、「セールスや工事業者等がひんぱんに出入りしている」等、事業者が業務をする中で感じた「違和感」や「気づき」のことをいいます。

主な見守り対象者の割合は？ ※見守り対象者は全町民が対象です。

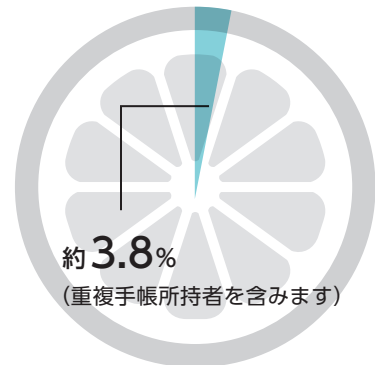
児童 (18歳未満)



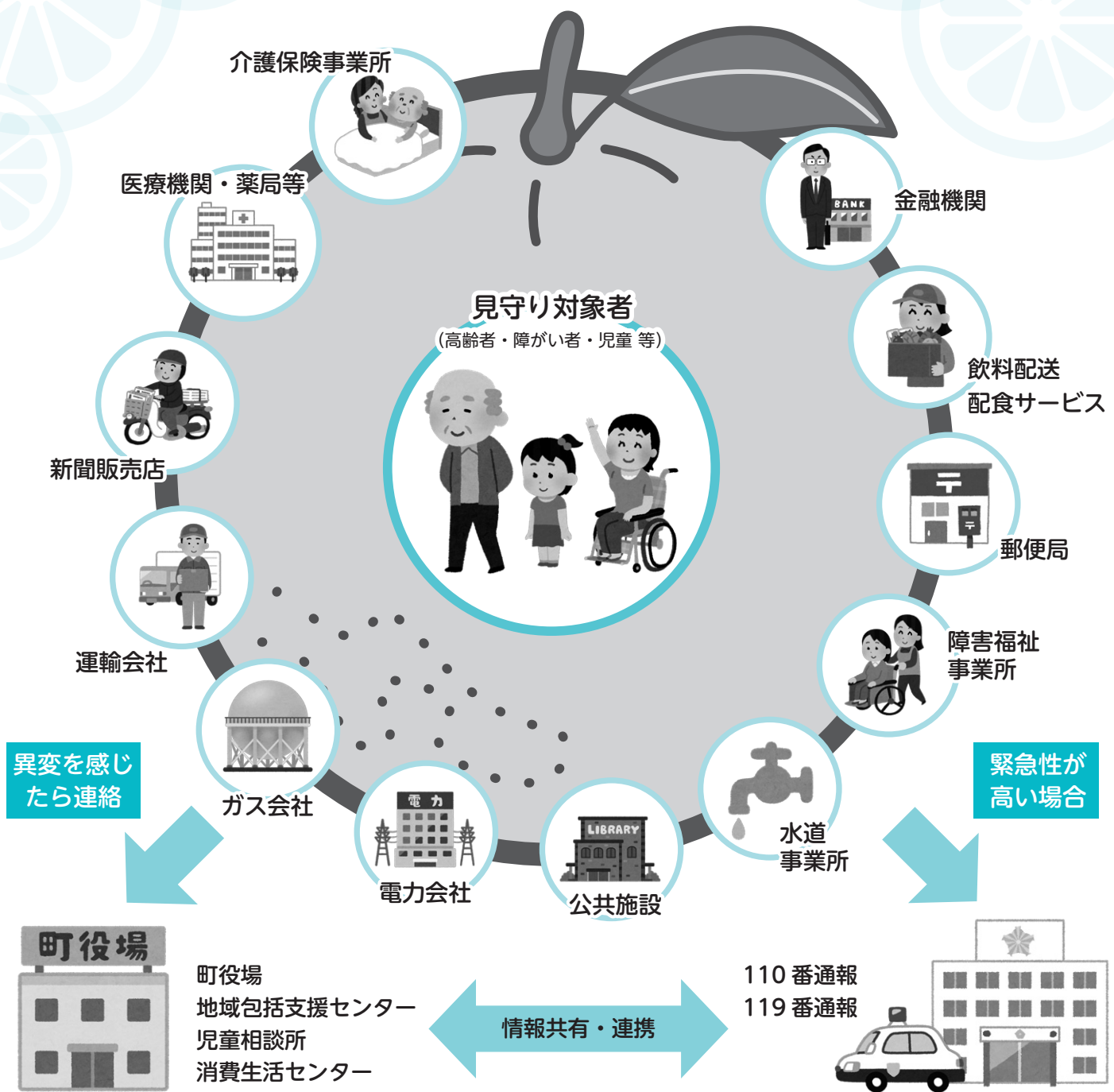
高齢者 (65歳以上)



障がい者・児 (手帳所持者)



(令和2年4月1日現在の人口割合)



ロゴマークもできました！

イメージカラー「オレンジ」は、高齢者・障がい者・児童等を町全体で見守る温かく優しい地域社会をイメージしています。認知症支援や児童虐待防止施策のイメージカラーとしても使われていることから、事業名を「オレンジネットワーク」と名付けました。

またロゴマークは、地域社会の優しい手で高齢者・障がい者・児童等の心を包み込むネットワークを構築できるようお願いを込めて福祉課職員が発案・作成しました。

